

サロンこんにちわ

地域内の学校と一体になった福祉教育の推進

習志野市社会福祉協議会　秋津支部

未来に花咲く子どもたちを育てるために
地域内の学校と協力し福祉教育に繋がる事業を展開

『タンポポの綿毛のように』――この言葉を常に念頭に置き、地域内の学校と一体になった福祉教育を推進する習志野市社会福祉協議会秋津支部。

この言葉には、「子どもたちはタンポポの綿毛と同じ、風に乗って見知らぬ土地に飛んでいって花を咲かせそこでまた、新しい思いやりの綿毛を散らしてくれるでしょう。私たちは20年30年先のために、いまタンポポを育てているのです」という、思いが込められています。

秋津支部の誇る福祉教育

秋津支部は、習志野市総合福祉センター内に拠点を置き、「食事サービス」や「家事支援」、さらには「広報」など現在8つの部会を持ち、様々な事業を展開しています。

中でも、秋津支部の特長を最もよく現しているのが、次に挙げる3つの事業です。

●育児家庭の交流事業「サロンこんにちわ」

毎週金曜日の10：00～12：00に秋津集会所で開催される、子育て中のお母さんの集いです。参加費は無料。

少子・核家族化が進む現在、「周囲に子育てに関する相談をできる人がいない」という悩みを持つお母さんが、気軽に集まり情報交換やおしゃべりができる場として人気を呼び、「ここで知り合い友達になり、外でもお付き合いしています」との声も多く聞かれます。

また、このサロンにも秋津小学校の6年生が、ボランティアとして参加することがあり、小さな子どもたちと戯れる小学生の微笑ましい姿が見られます。

なお、このサロンは習志野市在住であれば参加可能となっているため、秋津地区以外に住むお母さんも数多く訪れます。



サロンあきつ

●世代間交流事業「サロンあきつ」

毎月、第2・4金曜日の13：00～15：00に秋津小学校のPTA 会議室で開催される、世代を問わない憩いの場。参加費は大人100円（子どもは無料）で、飲み物とお菓子がサービスされます。

年齢に関係なく参加できますが、お年寄りの利用者が多く、折り紙や編み物、麻雀におしゃべり等、それぞれ好きなことをして楽しんでいます。

このサロンには秋津小学校の6年生が、ふれあい授業の一環として参加したり、近隣のグループホームや、障害者福祉施設の方々が参加することもあります。

年数回、食事会等のイベントを行い、こちらも毎回大人気です。

●「ふれあい交流事業」

――地域の保育所・幼稚園・小中学校と連携

秋津支部は他にも地域内にある学校と連携した事業を展開しています。

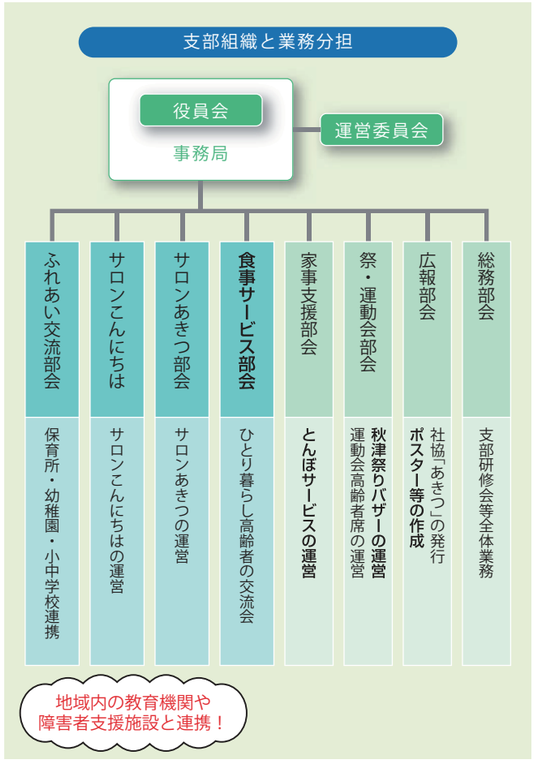
秋津小学校とは運動会や交流会等が、各学年毎にカリキュラムが組まれるほど深い関係を築いており、年8回開催される交流会の中で2回は、高齢者の方々と2年生の子どもたちが、一緒に給食を食べる機会を設けています。また、「食事サービス部会」が年8回開催している「ふれあい食事会」には、保育所や幼稚園の子どもたちが訪れ、食事前に歌や踊りなどを披露し、高齢者の方々を楽しませてくれています。

秋津支部はこれらの学校に対し、花壇の整備をしたり、昔の遊びを教えたり、また卒業前の子どもたちに感謝状を送るなどして、緊密な協力関係を築いています。見学に訪れる他の社協関係者から「どうすれば、これほど地域の学校と親しい関係になれるのか？」との質問を受けることが少なくありません。

子どもたちにとって、これらの事業に参加することが、優しさや思いやりを知るなによりの福祉教育となり、やがて『タンポポの綿毛のように』、何処かで花を咲かせることになるのでしょう。



ふれあい交流事業



家事支援事業「とんぼサービス」

習志野市で最初に生まれた地域市民による有償の家事支援システムです。「困ったときはお互い様」という相互扶助の精神から、1時間500円というリーズナブルな価格で、洗濯や掃除、食事の支度や後片付け、さらに買い物や話し相手など、お年寄りや身体が不自由な方々の、日常生活を手助けしています。

あえて有償としたのは、利用者から「無償だと気を使ってしまい頼みづらい」との声が開かれたため。利用料は協力会員に100％還元されます。



とんぼサービス